

いわざ民報

発行所 民報社
社報民きわい
（第一八三番） 地番一町田市平
人形町
已克輝千
號五十一 月 年 月 日 一 一 一 一

一網五十萬圓の大敷

今秋九月契約更新期に直面

一網五十萬圓：漁業の王座は大し、老大な資材を蒐集せねばならぬ氏は又新興漁業者として地方漁業の最高峰である、縣内唯一の漁獲局組織してやつてゐる現在の丸後接し、野崎貞行氏は漁業組合助役の下へは庶務、土木、學務、高を上げてゐる小名濱大敷網漁高組高橋貞氏に油揚げをさらわ、水野政次郎氏が縣水産會水道の各課を置くことになつた

實力は力印か

競願の九氏激烈な競争

別項現在請願してゐる小名濱側揚網漁業組合長である力印三丸高組高橋貞（現在經營者）は揚網と遠洋漁業の外に、茨代義勝、柳内吉助、比佐政種、城崎久慈濱で大敷網を經營、準渡邊兵左門、立花勇、野崎備が間に合はねば久慈濱の資材、眞行、水野政次郎、城十郎、を全部引上げて充當すると意氣の九氏で何れも本縣の代表的漁業家揃ひであつて、何人が金の經驗の点からも自他共に許すも射止めるか目下の處逆踏し難のである、然し柳内吉助氏は久いものがあるが、九氏のうち尤も之濱では比佐政種氏は豊間で共實力あり有聲視されてゐるのはこれに、大敷を經營、立花勇一時飽和状態を傳へられた常磐

大道異變

中等學校の生徒が親分、國物が無い。あつても買ふお金の無い。少々あつても目が飛び、民學校の児童を子分とする不良がない。少々あつても目が飛び、國民學校の児童が、同級生に分の命令でボールを盗む、學校の、食ひ度、買ひたい、と交渉してゐるといふ。しかも「前」にやつたことをばとに手一杯の昨今だが、子供は、母には内密に米を持ち出して「と云はれるので、不良今どんな生活をしてゐるか、スルメとか、菓子を買ふ資本を國から足を洗はうと思つても洗時々考へし、よく、觀察すつくるらし

石材販賣

才數、價格は御照會を乞ふ
平市二丁目三五
平石材採掘株式會社
電話二〇〇八番

民主化する小名濱役場

小名濱町役場町長室は二階會議室を以て充てゐるが、今時非民主的だと志賀町長は從來の宿直室を改造、階下に下り一級職員と共に執務すると共に長瀬助役には新館の元締めをなさしめることとし、町長下へは財政、庶務、戸籍、厚生、各課を置いたが、この内務を左

食糧對策聯合協議

警城民主人民聯盟と日農が行政刷新の對策案をも検討

警城民主人民聯盟では四日前各炭礦はその後未經驗者の入山十時から平市田邊製作所樓上に多かつたため落伍者が多く平政務委員を開き食糧危機突破の勤勞警察に常磐炭礦探採夫六政務委員及び行政刷新對策の檢討を行ふが更に六日前十時計六百六十名の就業者を斡旋方からは同所に聯盟食糧對策委員申込んで来た、加配米や特配の六團體との聯合食糧對策協議會を開いて、危機に直面する食糧問題について、凡ゆる角度から突破對策について協議を遂げること決定した

炭礦勞務者大量募集

但し身体頑健者

降つたぞ黄金の雨

坪當り十時現在で二斗七升

昨夜半から降り出した秋雨のために降り出したもので、これは初夏の空気を潤はせて今日四日通過すると雨はあがるが更に東の午前中まで降りてやんだ、乾支那海に低気壓もこの不連環勝であつた畑作には増産への懸念をたよつて東進するので曇天の空模様のもち又近く雨を見

流石に石炭が第一位

警城貨物自動車
警城自動車の去月二十一日から三十一日迄十日間縣内で動いたトラックは千五百九十九臺でこの扱ひ荷物は四千七百八十三噸に達したが、この内務を見るに左

電話買受渡シ

小口貸金湯本ウラ町青年の通りで常磐炭田の中心地だけに石炭が第一位を占め、次いで木材、木炭、鮮魚、雜品で米は僅かに六十四噸といふ寂しさもある（單位噸）

茄子苗も良好

本市の甘藷苗は全部消化の見透つたが茄子苗の發育が相當良好だつたため三萬本のうち二萬本は余剰になる虞があるので市勸業課では農家の外一般市民にも提供、茄子苗消化運動に乗り出すことになつた

衣料品の割當決定

戦災引揚者へ二萬二百点を

浦村大森同、勿來町窪田第一同、久ノ濱金澤同、水戸村輕井澤同、赤井村栗川第一同、廣野町龜崎同、上遠野村柳澤同、泉村坪同、高久村馬場同、上小川村横川同、人遠野村上根本同、小名濱町野田同、瀧田村下繁岡同、大野村山田同、天久村小山全、山田村下山田同、廣野町折木同

米麥類何と九十石

平署摘發隊五月中の成績

五月中に於ける平署主食摘發隊の成績は米四三石四斗三升、大麥三石八斗四升、小麥三石五斗、蕎麥一斗、合計八七石四斗三升、調査件數七百八十一件内取締件數百三十七件百三十七名に上り中途局されし悪質者も三件三名に達した、同時に其の他の統制令違反に引掛つたもの織維關係五十二件、燃料關係三十件、其の他八件計九十件の多數とある

平專賣局の表彰

優良耕作者と團體
平專賣局出張所では二十年度に於ける管内の優良耕作者並に團體の表彰を行ふべく、詮議中だつたが、この程左の如く決つた、尙表彰式は反別調査後の豫定とある

事務所新築移轉

合名吉田恭平商店代表社員
常磐製粉工業株式會社
常磐電氣工業株式會社
取締役社長 吉田恭平
湯本町 電話七四番
自宅 電話五三番

市郡下男女籠球大會

市郡下籠球大會は二日平高女で開催されたが参加は男子部六チーム、女子部八チームで左のスコアで男子部は平商OBが女子部は平女OBが優勝した

いわざ寸言

小名濱大敷網の契約更新期迫る、前回は地元側が争ふてゐる間に時期を失し、處に油揚げをさらわれた形であつた、地元側を遠方のお客さんに與へ、利益を全部他縣へ持つて行かれる手はない、地元側が經營すると大なり小なりの形で利益は地元に残り、それだけ潤ふのは三才の童子も知る、競争はやるべし、但し一度決定した以上それが何人であらうとも怨恨を残すやうなことなく地方漁業のため協力されることを要する、問題準備時期を失せぬやう契約更新問題を急ぐことである

